

2013年3月9日

平成24年度 地域相談支援フォーラム（中国・四国ブロック）

がん患者・家族を がん相談につなげるために

～地域の急性期病院における取り組みの一例～



鳥取県立中央病院 臨床心理士 藤松義人

鳥取県立中央病院の概要

病床数 431床 (一般417床・結核10床・感染症4床)

診療科 25診療科 3センター

H19年「地域がん診療連携拠点病院」に指定



がん相談支援室の概要

【設置】

H19年

【スタッフ】

室長 医師(兼任)

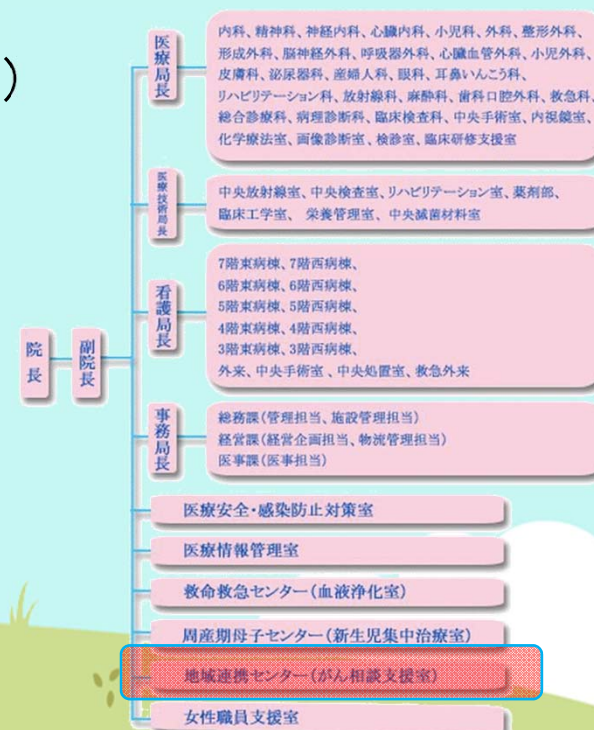
医療ソーシャルワーカー 1名(兼任)

緩和ケア認定看護師 1名

臨床心理士 1名

【相談件数】

H23年度 年間3600件超相談



院内広報の取り組み

●患者・家族向け

- リーフレット作成と設置
- 病院広報誌
- 院内掲示
(病棟・外来・化学療法室など)
- 院内講演会
- 外来待受無音TV
- 院内図書室との連携

●医療スタッフ向け

- プレゼン
- 院内掲示
- キャンサーボード
- 病棟ラウンド
- 飲み会



広報活動のハードル

がん相談支援室の広報のために、入院患者資料セットにリーフレットを入れたい！！



地域の総合病院であり、がん以外の患者も多い。また、「がん」という言葉に敏感な方も。特に、未告知の患者に疑念を抱かせる可能性あり実現困難

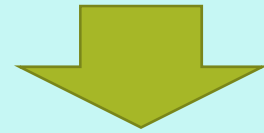
By 病院幹部

当時の院内状況

院内がんサロンの立ち上げと同時に、サロンに付属して、患者家族の医療情報収集のサポートを目的に患者図書室を開室



患者図書室・患者サロンリーフレットを作成



病院アメニティー施設アピールのために、入院時配布資料セットに患者図書室・患者サロンリーフレットを挿入することに

図書室のご案内



病気が知りたいとき、
気分転換したいとき、
お立ち寄りください

鳥取県立中央病院

ご来院される皆様に病気や医療の情報を集めていただけるよう、図書室に資料を設置しています。
図書室には司書が駐在しており、相談員と協力して、皆様の情報収集をお手伝いします。どなたでもご利用いただけます。

図書室においてあるもの

- 図書 (当院所蔵図書・鳥取県立図書館借受図書)
- 雑誌
- がん関係 DVD
- パンフレット
- インターネット接続パソコン

鳥取県立図書館と連携しています

- 図書室資料の一部を借り受けています (一定期間で入れ替え)
- ご希望の県立図書館図書を、図書室まで取り寄せることができます



場 所 / 6階 サロンあおぞら 前
開 室 日 / 月～金 (祝日を除く)
開室時間 / 13:00～16:00
貸出冊数・期間 /
入院患者 3冊、1週間
外来患者 3冊、2週間
※鳥取県立図書館の図書は、外来患者の方への貸し出しは出来ません。
貸し出しには診察券が必要です。
返却本は図書室カウンターもしくは図書室前の返却ポストへお返しくください。
お問い合わせ
0857-26-2271 (代表)

図書室・サロンで両面印刷となっている。実際には、経費削減のため、両面白黒印刷のものを入院セットに挿入

図書室とサロンは
向かい合わせ
の立地

「サロンあおぞら」のご案内

病気になる不安、悩みなど
一人で抱え込まず、
みんなで分かち合しましょう。

患者サロンを知っていますか

患者サロンとは、患者の皆様やその家族など、同じ立場の人が病気のことを気軽に本音で語り合える交流の場です。

定例会のご案内

「サロンあおぞら」では、毎月第4火曜日14時～がん患者と家族による定例会を行っています。がんの種類は問いません。治療中の方、病状が落ち着いた方、家族など、どなたでも参加いただけます。がん専門相談員も出席します。

ピアサポーターのご案内

「サロンあおぞら」では、毎月第1・3火曜日14時～がんを経験したピアサポーター（仲間）が相談会を行っています。病を持った経験を中心に、理解と共感を基盤にした相談が行なわれています。

参加することのメリット

- 悩んでいるのは、自分一人ではないことに気づき、気持ちが楽になる。
- ほかの患者さんの体験談を聞くことで、悩みを解決するヒントを得たり、問題との付き合い方を学んだり出来る。
- 病気の体験を人に話すことにより、自分の気持ちが整理できる。
- 自分の体験がほかの患者さんや家族を支援する力になることを知り、失った自信を取り戻せる。



開 室 日 / 月～金 (祝日を除く)
開室時間 / 9:00～17:00
料 金 / 無料
利用対象 / 当院受診中の患者及び家族の皆様
利用方法 / 利用には手続きが必要です。がん相談支援室へお越しください。
●●●● お問い合わせ ●●●●
0857-21-8501 (直通)

鳥取県立中央病院がん相談支援室 H23.8

鳥取県立中央病院
がん相談支援室



サロン



インターネット利用PCや
DVD閲覧用TVなども設置



一般書に関しては書籍の入れ替え中。県立図書館と連携することで、病院の図書購入費用負担を抑えつつ、定期的に図書のリフレッシュを行うことができる



患者図書室との連携

患者図書室へ訪問し、がんに関する書籍を探したり、貸出希望される患者・家族に司書さんより、がん相談支援室の説明とリーフレットを配布していただく



情報を求めている患者・家族に的を絞ってがん相談支援室に関する情報提供が行われるようになった。配布コストを抑えつつ、相談に直接結びつきやすい、効果的な広報活動を行うことが可能となった

まとめ

- 様々な疾患を取り扱う、地域の急性期病院には、広報活動にあたって様々なハードルが考えられる
- 院内の関連部署と協力体制を構築することで、コストを抑え、的確な広報を行うことが可能となる
- 広報はすぐに成果が現れないことも多い。複合的な手段を用い、長期的な視点で取り組むことで、がん相談支援センターへの認知度向上と適切な相談への道筋を示すことが可能となる